

# 漁海況月報

No. 12

平成 24 年 12 月 1 日

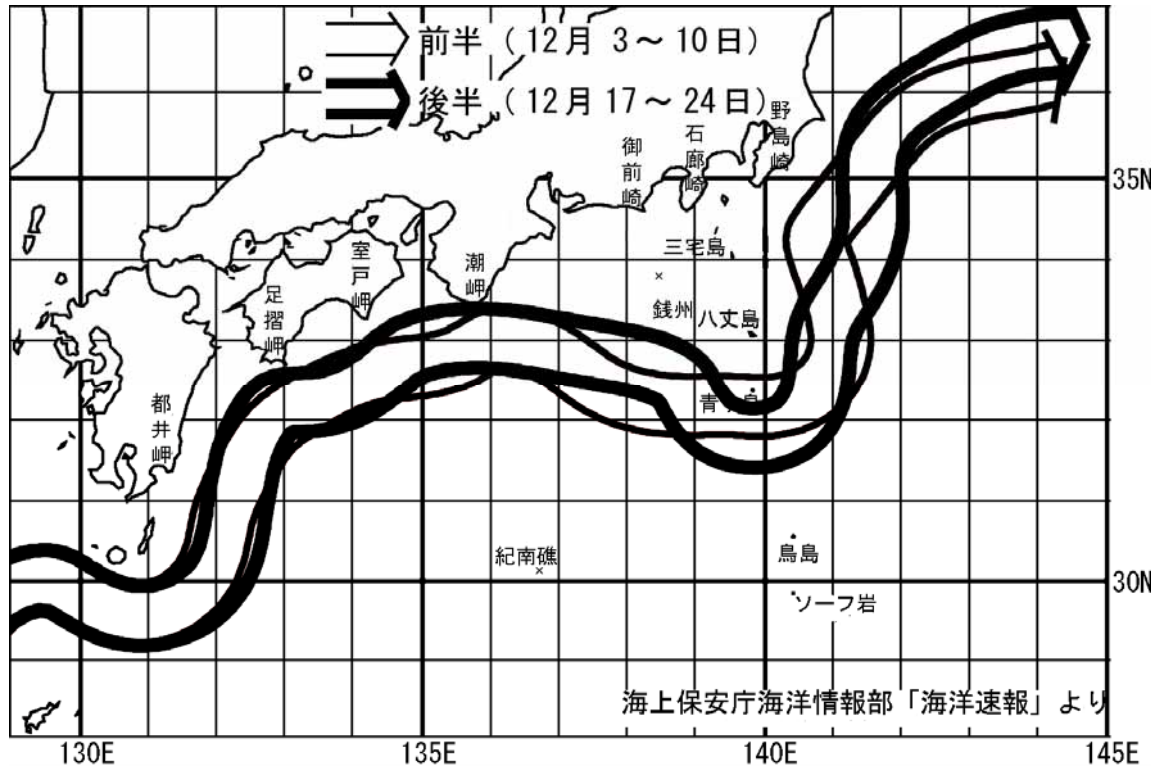
～ 12 月 31 日

静岡県水産技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



海上保安庁海洋情報部「海洋速報」より

## 【黒潮流路】

前半は、足摺岬、潮岬で接岸、室戸岬で離岸した。遠州灘沖では 33°N 付近まで蛇行して南下し、八丈島の南を通過した後、東経 141°E 付近を北上して房総半島沖へ流れた。後半は、室戸岬、遠州灘沖で若干接岸したが、伊豆諸島付近では青ヶ島の南まで南下した。その後、140～141°E 付近を北上し房総半島沖へ流れた。

## 【県下沿岸域】

県下の定地水温は、黒潮の離岸傾向であったため、駿河湾東部では低め～やや低め、駿河湾西部では低め～平年並みであった。駿河湾西部では、焼津では平年並みであったが、地頭方では気温の影響を受けて、かなり低め～やや低めであった。

## 【竿釣近海カツオ】

県内主要 5 港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量はなかった。

竿釣（近海船＋沿岸船）カツオ水揚量（県内主要 5 港）

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
24 年 12 月計				-
23 年 12 月計			-	-
22 年 12 月計	5	3	1.7	212

## 【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は 391 トンで、前年同期の同漁場の水揚量（637 トン）の 0.6 倍、平年値（昭和 57～平成 23 年）313 トンの 1.2 倍となった。

魚種別では、サバ類（サバッコを除く）231.3 トン スルメイカ 74.5 トン マルソウダ 11.3 トン アカカマス 10.4 トン イサキ 6.1 トンの順に水揚げされた。

サバ類は尾叉長で 30～37 cm の大きさのゴマサバを主体に川奈、富戸漁場を中心に前年の 0.9 倍、平年の 3.0 倍の量が、スルメイカは外套背長で 20～30 cm の大きさのものが北川、富戸漁場を中心に前年の 0.5 倍、平年の 2.7 倍の量が、マルソウダは尾叉長で 25～30 cm の大きさのものが古網、北川漁場を中心に前年の 0.9 倍、平年の 1.4 倍の量が、それぞれ水揚げされた。

漁場別では、川奈 109 トン（サバ類、スルメイカ、マイワシ主体）、北川 98 トン（サバ類、スルメイカ、イサキ主体）、富戸 70 トン（サバ類、スルメイカ、サンマ主体）の順に水揚げ量が多かった。

魚種	漁獲量 (トン)	前年比	平年比	主な漁場
サバ類	231.3	0.9	3.0	川奈、富戸、北川
スルメイカ	74.5	0.5	2.7	北川、富戸、川奈
マルソウダ	11.3	0.9	1.4	古網、北川、伊豆山
アカカマス	10.4	2.6	7.5	古網、伊豆山、北川
イサキ	6.1	0.8	2.4	北川、富戸、赤沢

定地水温の旬平均値（ ）（下段は偏差）

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	17.1	18.1	17.4	16.4	16.7	16.9	12.8
	-0.3	0.2	0.0	-1.6	-0.9	0.1	-2.9
中旬	15.1	16.4	16.2	15.6	15.5	15.7	13.1
	-1.6	-0.8	-0.2	-1.3	-1.1	-0.3	-1.4
下旬	14.9	15.8	16.0	14.8	14.4	14.7	11.4
	-0.7	-0.5	0.4	-1.2	-1.3	-0.2	-2.3
月	15.7	16.9	16.5	15.6	15.5	15.7	12.4
	-0.9	-0.2	0.0	-1.3	-1.1	-0.1	-2.2

**[サバたもすくい・棒受網]**

小川港には、棒受網によってゴマサバ 262 トン（前年同月比 43%）が水揚げされた。1 隻あたり水揚げ量は 29.1 トン/隻（前年同月比 77%）であった。平均単価は 59 円/kg で前月（58 円）前年同月（48 円）を上回った。

棒受網の漁場は、三本にゴマサバ主体で形成された。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	サバ	ゴマサバ			サバ	ゴマサバ	サバ	ゴマサバ	
24年12月上旬									
中旬		193	3	7		27.5		61	本
下旬		69	2	1		34.7		54	本
24年12月計		262	4	9		29.1		59	
23年12月		605	7	16		37.8	134	48	本 本
22年12月		564	7	17		33.2		39	本 本

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**[サクラエビ船曳網]**

出漁日数は 8 日で、漁獲量は 234 トン、漁場は主に三保～相良沖に形成された。漁獲されたサクラエビは、体長 30.9mm にモードを持つ当歳エビと 39.5mm にモードを持つ 1 歳エビで、当歳エビが主体だった。

平成 24 年秋漁は 12 月 21 日が最終出漁日となり、出漁日数は 17 日（前年秋漁は 13 日）、漁獲量は 389 トン（同 358 トン）であった。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り 平均漁獲量(kg)	漁 場
平成 24 年 12 月 上旬	29	2	平均 243	焼津～大井川沖、戸田沖
中旬	137	4	平均 573	三保～相良沖
下旬	68	2	平均 568	三保～相良沖
平成 24 年 12 月 計	234	8	平均 489	
平成 23 年 12 月 計	194	7	平均 462	三保～安倍川沖・榛原沖
平成 22 年 12 月 計	225	6	平均 623	大谷下～蒲原沖

**[シラス船曳網]**

1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾（静岡、吉田）が 176kg、遠州灘（御前崎、福田、舞阪、新居）が 312kg であった。主要 6 港平均の 1 日 1 か統当りの水揚量は 255kg と前年同期(129kg)の 198%、前年同期（過去 5 か年平均：138kg）の 185%と前年同期、前年同期を大幅に上回った。また、総水揚量は 233.4 トンで前年同期(85.5 トン)の 273%、前年同期（100.5 トン）の 232%と、前年同期、前年同期ともに大幅に上回り、11 月に引き続き 12 月としては主要 6 港の統計を取り始めた昭和 60 年以来、最高値を記録した。平均単価は 604 円/kg と前年同期（920 円/kg）を下回った。

シラス水揚量（主要 6 港）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	19.1	9	91	210	495
舞 阪	81.9	9	232	353	524
福 田	50.6	7	158	320	489
御前崎	14.3	6	50	286	624
吉 田	36.1	10	203	178	517
静 岡	31.5	9	180	175	1,152
平成 24 年 12 月 計	233.4	50	914	255	604
平成 23 年 12 月 計	85.5	39	662	129	856
平成 22 年 12 月 計	219.6	47	823	267	624

各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

前年同期：過去 5 か年(2007～2011 年)平均値

**[イワシ(まき網)]**

小川港のマイワシの水揚げは 0.0 トン（38kg）とほとんど無かった（前年同期 6.7 トン）、沼津港のマイワシの水揚げは 2.1 トンで、先月から大幅に減少し（前年同期 18.4 トン）、カタクチイワシの水揚げはなかった（前年同期 0.1 トン）、静浦港のマイワシの水揚げはなく（前年同期もなし）、カタクチイワシの水揚げもなかった（前年同期の水揚げもなし）、伊東港のマイワシの水揚げは 7.5 トンで先月から大幅に減少した（前年同期 168.7 トン）。

注）前年同期：過去 5 か年(2007～2011 年)平均

**[調査船の動向]**

駿 河 丸

12月 5 日	～	12月 6 日	地先定線観測調査	(2日間)
12月 12 日	～	12月 13 日	タチウオ調査	(2日間)
12月 13 日	～	12月 14 日	サバ標識放流調査	(2日間)
12月 17 日			公共用水域水質調査	(1日間)
12月 18 日	～	12月 19 日	サクラエビ調査	(2日間)
12月 20 日	～	12月 21 日	ハダカイワシ調査	(2日間)
12月 25 日			シラス TBC 調査	(1日間)
12月 27 日			シラス TBC 調査	(1日間)

**静岡県水産技術研究所のホームページ**

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

